



いかそう太陽エネルギー ～めざせ！茅産茅消～ ～持続可能な社会をめざして～

茅ヶ崎産のエネルギーを茅ヶ崎で消費しよう ～茅産茅消～

2009年6月、茅ヶ崎市民活動サポートセンターに、市民立太陽光発電所「れんこちゃん1号」、2011年3月22日、茅ヶ崎市こどもセンターに「れんこちゃん2号」そして、2014年4月24日、ここ五郎兵衛コミュニティパークに「れんこちゃん3号」が完成しました。5.04kWの設備は、2016年3月までに、16,952.5kWhと順調に発電しています。

「れんこちゃん3号」は、「駅と緑と絆の会」のみなさま・茅ヶ崎市の協力を得て、NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク(chigasaki Renewable Energy Network/略称「ちがさきREN」)が設置しました。「れんこ(REN)ちゃん」は会のイメージキャラクターです。

(★ Renewable Energy は、「再生可能なエネルギー」という意味です。)

未来ある子どもたちのために

日本のエネルギー自給率がわずか6%(2013年)という現状の中、私達は茅ヶ崎のエネルギー自給率を少しでも高めていきたいと願っています。私達は、枯渇が心配でありまた地球温暖化をすすめる化石燃料や、事故発生時は甚大な被害、とりわけ子ども達の健康被害が心配な原子力発電への依存から抜け出し、持続可能な、安心して暮らせる社会を次世代の子ども達に手渡して行かなければなりません。

災害時に備えて、ライフラインからライフポイントへ

太陽光発電は、災害等での停電時も、自立運転に切り替えれば電力を得ることができます。太陽が出ていない夜間等は使用できませんが、曇天でも携帯電話の充電程度は出来ますので、災害時に備えた独立型電源の確保は重要です。

意志あるお金に支えられて

設置工事費1,309,000円は、アズビル株式会社の中にある「みつばち倶楽部」からの支援金と市民・団体・企業等からの寄付金、そして「れんこちゃん1号」が生み出した電気の自家消費分(NPO法人NPOサポートちがさきからの寄付)と借入金で賄いました。借入金に関しては、「れんこちゃん3号」の売電料金と寄付金で返済中です。市民立発電所「れんこちゃん3号」は、持続可能な社会にしていきたいと願う人達の思いがいっぱい詰まった発電所なのです。

「持続可能な仕組み」をめざして

さらに続けて市民立発電所「れんこちゃん4号」を設置していく為に、現在、「れんこちゃん1号・2号」から生み出される自家消費分の電力の価値を証書化し、「グリーン電力証書」として販売中です。これらのお金と市民の思いが循環して自然エネルギーが広がっていくように、今後も活動していきます。

2016年4月14日

NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク(ちがさきREN)

市民立太陽光発電所 れんこちゃん3号を支えてくださったみなさま

青池 愛子	管澤 克予	塚田 桂子	駅と緑と絆の会
足立 悠	後藤 淳一郎	寺前 洋巳	(株)イオンリテール イオン茅ヶ崎店チアースクラブ
井澤 久美子	小室 武司	飛世 愉生	CELC(クリーンエネルギーライフクラブ)
石黒 達郎	斉藤 徹	永尾 昌史	NPO法人 NPO サポートちがさき
石黒 典子	佐川 美智子	永峰 千尋	NPO法人 こだいらソーラー
石黒 廉	佐々木 里子	中村 朝美	「安部芳裕氏講演会」参加者有志
石黒 優	佐藤 令子	中村 安良太	ソーラーハウスにしかわ
石黒 凜	佐藤 光俊	根本 美知子	「ちがさき環境フェア2015」参加者有志
上野 さつき	信濃 小百合	八田 美江	「希望の国」上映会 参加者有志
宇佐美 清子	鈴木 國臣	羽田 一郎	「日本と原発」上映会 参加者有志
浦田 義和	鈴木 伸予	平松 健男	「望郷の鐘」上映会 参加者有志
遠藤 信二	清田 暁一	福田 恵子	林美容室
大友 深雪	清田 和子	藤井 新	(株)アズビル「みつばち倶楽部」
大森 恵子	清田 茂	藤岡 進	
岡村 悦子	清田 菜々	藤川 百合子	
小川 斉	清田 美帆	益永 律子	・個人 77名
生越 拓	高橋 里幸	松田 幸子	・団体 12団体
生越 武子	高橋 香代子	三上 雅夫	
生越 千草	高橋 凧沙	三瓶 加津子	(2016年4月14日現在)
生越 哲男	武田 俊司	三坂 節子	
押見 史	田代 直也	宮川 和代	
小沼 明美	田代 じゅん	宮崎 史子	
加藤 晃子	田代 ちより	山本 晃稔	
河原 直徳	田代 かぐら	若梅 由紀子	
河原 ひとみ	田村 敦子	渡辺 水穂	

